

# 知って備える 防災メモ

第58回



## 11月5日は津波防災の日

9月30日(土)の総合防災訓練では、十勝沖を震源とする大地震が発生し、登別市をはじめとする北海道太平洋沿岸西部に津波警報が発表されたことを想定した各種訓練を実施しました。

地震に伴う災害などは、いつ、どこで発生するか分かりません。皆さんは日頃から、災害に備えていますか。

1854年11月5日、安政南海地震に伴う大津波が、和歌山県などを襲った際、収穫されたばかりの稲わらに火を付け、暗闇の中で多くの人々を高台へ導き、命を救った『稲むらの火』という逸話にちなみ、11月5日は『津波防災の日』とされています。

この日をきっかけに、避難経路や非常持出品の確認をしませんか。  
**最寄りの避難所はどこですか**

市が配布している防災マップなどにより、市内の避難所を確認するこ



とができます。災害が発生したときに、平常心でいることは難しいものです。日頃から家族などで、避難所を決め、緊急時には速やかに避難できるような避難経路についても確認しておきましょう。

なお、避難所や避難経路は、災害の種類によって異なりますので注意が必要です。

**自分自身を守る非常持出品**

津波など、大規模な災害になればなるほど、速やかな避難が必要となるため、非常持出品の準備が重要となります。

乳幼児がいる場合は、紙オムツや粉ミルクが必要となるなど、家族構成により、必要な物が異なります。防災マップなどを参考に、必要な物を最小限にまとめ、すぐに持ち出せる場所に準備してください。

なお、食品については、調理の必要がない物を選びましょう。

### ▼問い合わせ

総務グループ(☎<sup>85</sup>1130)

人が輝き まちがとぎめく

# 仲間たち

Group

## ハーラウフラ・プアネリネ

『ハーラウフラ・プアネリネ』は、平成17年に結成したフラダンスのサークルです。現在のメンバーは40代から80代までの女性21人。第1・第2・第3火曜日を基本に、月3回、市民会館で活動しています。

「フラダンスは、ハワイの伝統舞踊で、優雅な振り付けで表情豊かに踊るものです。幅広い年代のメンバーと一緒に、一つの曲を踊りきることに楽しさを感じています」と話すのは、代表の濱谷亜紀さん。

このサークルでは、市内の各種行事に出演するほか、年10回程度、介護施設で踊りを披露したり町内会の敬老行事に参加したりしています。濱谷さんは、



▲笑顔を絶やさず楽しくフラダンスの練習に取り組むメンバー

「普段の活動で練習してきた踊りを見ていただき、喜んでもらえるのが何よりうれしいですね」と笑顔を見せます。

一緒にフラダンスを楽しみましょうと呼び掛ける濱谷さんは、「今いるメンバーも、加入した時はみんな初心者でした。優しい人が集まったサークルですので、気軽に加入してください」と話します。

## 私たちと一緒にハワイ発祥のダンスを優雅に楽しんでみませんか

結成当初からのメンバーである小林茂土子さんは、「体を動かす趣味を始めたいと思います。激しい動きが少なくゆったりと踊れるので、高齢の方にもおすすめてです」と話してくれました。活動に関する問い合わせは、濱谷さん(☎090-1507913 205)まで。